

真のプロを目指し、次元の高い目標を自らに課す年に

株式会社バンダイ

バンダイグループの皆さん、2005年は自らに次元の高い目標を課す年にしませんか？真のプロは、少しでも高い所に到達したいと常に高い目標を自らに課しています。アメリカのメジャーリーグで活躍しているイチロー選手や、松井選手をはじめとする第一線のプロ達は、どんなに素晴らしい結果を残すことができても今日の自分に満足していません。逆にもっと上を目指したいと、毎日毎日練習・訓練を続けているのです。彼等は“練習でできないことが、試合で突然できることはない！”と心から確信しているのです。我々は、こうした彼等の打ち込む姿勢にも感動します。こうした抜きん出た技量を持つ多くのプロが提供してくれるサービスが我々に「感動」を与えてくれるのです。

バンダイグループのビジョンは「世界一の感動創造企業」です。お客様に感動を届けるために、我々は「真のプロ」にならなくてははいけません。我々はどうしてもほどほどの目標で自己満足して安定を求めてしまいがちです。そうではなく、自ら立てた目標に責任を持って飽くなき挑戦を重ねる...これこそが「プロ」の姿勢ではないでしょうか。皆さんには、組織としても個人としても“頑張ればこのくらい出来るだろう”というレベルではなく、“よっぽど頑張らないと出来ないぞ！”という次元の高い目標を明確に決めていただきたいのです。

私はバンダイを、皆さんが、バンダイで働いていて本当に良かったと思える素晴らしい会社、バンダイで働いていることを周りに誇れる素晴らしい会社にすることです。そして、世界中の人がバンダイには「夢」と「感動」が一杯だと思ってくれる素晴らしい会社になりたいのです。

私は、今のバンダイグループにはまだまだ満足していません。真の「世界一の感動創造企業」に一歩でも近付くために、皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

今年は、大きな夢を実現する年にしましょう。

代表取締役社長 高須武男

